

ご連絡な話題など、お気軽に  
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387

## 市防犯協会にパトロール専用車配備



8月29日、加東防犯協会に青色回転灯や車載マイク等を装備した防犯パトロール専用車が配備されました。

このパトロール車は、今年の日本宝くじ協会の助成事業で全国に配備される36台のうちの1台で、兵庫県で唯一、加東防犯協会に配備されたものです。

これまで、会員のみなさんの自家用車などでパトロールをされていたそうで、兵庫県防犯協会へ2年越しの要望を実らせた増田正一会長は「この専用車をいただいたことをきっかけにして、さらに防犯活動を充実させ、加東市の安心な暮らしを守りたいです」と力強く語られました。

## 秋においしいたきのなす



JAみのり加東営農経済センターで開催されました。

今季は春の低温、夏の少雨など、なすにとって厳しい年とのことです。技術と努力の結晶とも言える、つやつやしたなすが揃っていました。

出品者のみなさんは「食べ頃はちょうど夏から秋にかけて。きっとおいしいと思います」と胸を張っていました。

## ありがとうございます



国際ソロップチミスト北播磨（富田みほ会長）から、やしろこどものいえに、図書購入費用として3万円をいただきました。ありがとうございます。

## 楽しい夏の締めくくり



8月31日、「加東市夏のおどり」が開催されました。たくさんの参加者がそれぞれの地区夏まつりで踊り込んだ加東よしよし音頭や炭坑節を楽しまれた後、今年の目玉である河内音頭の河内家菊水丸さんが登場。菊水丸さんの名調子でさらに踊りの輪は広がり、夏を締めくくるにふさわしい盛り上がりとなりました。

## 屋外広告物合同パトロール



9月6日、良好な景観と交通環境を守るため、違反広告物の指導・撤去を一斉に行うパトロールを行いました。

県条例に違反している、または通行の妨げになっているのぼりやはり紙、看板などの広告物を撤去するもので、今回は北播磨の国道175号沿線の三木市・小野市・加東市・西脇市と国土交通省、兵庫県と管轄の警察署が合同で行いました。

## 空手大会で活躍



第1回オープントーナメント世界総極真近畿大会  
小学4年男子の部 第3位 小寺 啓

第5回オープントーナメント世界総極真兵庫カップ  
小学1年男子の部 準優勝 小寺 渉  
小学6年女子の部 第3位 小寺 里美

第3回不動心杯ジュニア新人空手道選手権大会  
日本武道振興会チャンピオンカップ予選大会  
小学3年女子チャンピオンクラス 優勝 小寺 もとこ

## 姉妹都市オリンピアに行ってきました！



8月18日から28日の11日間、加東市の中高生17人が姉妹都市ワシントン州オリンピア市を訪問しました。

学生たちは、ワシントン州議事堂で開催された兵庫県・ワシントン州姉妹提携50周年記念式典で、井戸・兵庫県知事やインズリー・ワシントン州知事と対面。姉妹都市の代表団として記念調印式や歓迎夕食会に参加し、50年にわたる姉妹交流の偉大な歴史に触れました。また、ホームステイを通じてアメリカの生活習慣や本場の英語を学び、数え切れない思い出とともに元気に帰国しました。

9月11日に行われた帰国報告会では、一人ひとりがオリンピアでの研究の成果を発表。参加学生からは、「もっと英語が理解できるよう勉強して、いつかまたオリンピアに帰りたいです」との抱負が語られました。貴重な経験を通じて多くの学んだ学生たちは、将来、きっと加東市と世界をつなぐリーダーとなってくれることでしょう。

なお、国際交流協会では、来年1月に親善使節団のオリンピア市訪問、夏には交換留学生の受け入れを予定しています。

## 仲間と一緒に体験学習



8月21日から23日、東条健康の森で、小学生チャレンジスクールのキャンプを行いました。

参加した子どもたちは、みんなで入るドラム缶風呂など、多くの珍しい体験をし、楽しい夏の思い出をたくさん持ち帰りました。

## 海釣りにチャレンジ



8月27日、神戸市立平磯海釣り公園で、第2回加東市子ども会夏休み釣り大会が開催されました。

開始直後はあまり釣れませんでしたが、潮が動き、ベラやアジ、サヨリが釣れ始めると子どもたちは大喜び。大きな歓声があがっていました。

## みなさまのご長寿をお祝いしました



今年11月で96歳を迎える柳千歳さん（森）に、9月15日、県連合婦人会からお祝いが贈られました。

東条デイサービスセンターに週3回通われるなど、充実した日々を送られている柳さんに、長生きの秘訣をお聞きすると「楽しく遊ぶこと」と教えてくれました。これからも元気でお過ごしください。



9月に満100歳を迎えた大畠いずみさん（上鴨川）に、お祝いをお贈りしました。

80歳頃まで釣り針の針くくりをさせていた大畠さんは、歌を歌ったり、聞いたりするのが大好きだそうです。

これからもお元気でお過ごしください。